

みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインタープリターによる四方山話のコーナー。
みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

春が好きになっちゃった話

今号の担当：福田 朋世（もよちゃん）

みなさんにとって春といえば、どんな風景ですか？
私にとって春は「空を霞ませて冬を終わらせてしまうもの」でした。
育った環境も以前の職場も海岸や広大な川原といった開けた場所で、
広い空に景色や星が映える冬が一番好きだからです。

しかしみどり森に来てみたら、新緑は踊り出したくなる美しさだし、
日々自然の表情が変わるので、春の楽しさで忙しく、冬を恋しく思う
暇がなくなりました。

生きものを見つけたりワクワクしたりするのが得意なみどり森
スタッフ達の伝授もあり、新年早々にはいつウグイスカグラが咲くかな？
いつアカガエルが産卵を始めるかな？と、春の兆しを楽しみに過ごし、
暖かくなってからは、新芽のふわふわで極上の触り心地、びっくり
するぐらいの数のイモムシ、シャンデリアのようなエゴノキの花、
…楽しみにしているものをあげたらキリがありません。

みなさんも、五感をフル稼働して自分なりの楽しみを見つけたり、
スタッフに話しかけて新たな楽しみ方を知ったりして、
春のワクワクで心をいっぱいにしていただきたいです！
きっと、みどり森の春を好きになっちゃいますよ。



さいたま緑の森博物館 利用案内



狭丘丘陵の北西部に位置する、里山の自然
そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>
※ QRコードから開けます

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）
祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き
または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分
※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- ① 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ② 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ③ 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- ④ 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- ⑤ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ⑥ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ⑦ ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑧ ラジコンやドローンは使わないでください。

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより
No. 49

寒かった冬も終わり、命動きだす暖かな春がやってきました♪
植物の花や鳥たちのさえずり、冬眠明けの虫たち等で みどり森がだんだんと賑やかになってくる季節です。

私たち人間にとっては おだやかなイメージの春ですが、
生きものたちにとっての春は、次世代へ命をつなぐための勝負の
季節です！ 散策中にはもしかしたら、雛の為に必死にエサを集める
親鳥や、ヘビに食べられてしまっているオタマジャクシ等を見
かけるかもしれません。どの生きものも、子孫を残すために
必死に生きているので、どうか優しく見守ってあげて下さいね。

中面の特集は、みどり森のヨシ原！よーく見ながら湿地を
歩くと、じつはたくさんの生きものが隠れていますよ。



イベント情報（4～6月）

電話（04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。
また、当館ホームページからもお申込みできます。

| イベント名 | 実施日 | 対象、定員等 | 概要 | 申込期間 |
|-------------------------------|---|---|---|---------------------|
| みどり森お助け隊 「外来植物の 抜き取り作業」 | 5/3（水祝） 10:00～12:00 | 対象：小学生以上 （小学生は保護者と参加） 定員：20名（先着） 参加費：100円（保険代） | みどり森で活動しているボランティ ア団体や、当館スタッフが普段行っ ている里山保全活動を気軽に楽しく 体験できます。 | 4/4（火）～ （先着順） |
| 親子はじめの自然観察会 「春の生きもの」 | 5/5（金祝） 9:30～12:00 | 対象：小学生と保護者 定員：20名（抽選） 参加費：100円（保険代） | 親子向けの観察会。大人も子供も、 春の植物や昆虫を観察して楽しみま しょう。 | 4/5（水） ～4/11（木） |
| 食育体験教室 「田んぼで お米を作ろう！」 | 5/7、5/28、7/2、7/30、 9/3、10/1、10/22 全7回 全て日曜 10:00～15:30 | 対象：小学生以上 （小学生は保護者と参加） 定員：50名（先着） 参加費：5,000円（7回分） | 田起こし～脱穀までお米ができるま での全過程を体験。全7回の稲作を 通して、米作りの大変さや食の大切 さを学びます。 全7回参加できる方対象。 | 4/1（土）～ （先着順） |
| 里山ようちえん 「カエル組」 | 6/3（土） 10:00～13:30 | 対象：R5年4/1時点で 満4・5歳児と親御さん 定員：20名（抽選） | 参加費：親子2名で1,000円 1名追加ごと500円 | 5/3（水） ～5/9（火） |
| 「オタマ組」 | 6/7（水） 10:00～13:30 | 対象：R5年4/1時点で 満2・3歳児と親御さん 定員：15名（抽選） | 子どもの成長段階や好奇心に合わせ ながら、親子で里山の自然の中で遊 びます。お弁当と飲み物持参。 お菓子付き。 | 5/7（日） ～5/20（土） |
| 大人の自然観察会 「みどり森のコケ」 | 6/18（日） 9:30～12:00 | 対象：中学生以上 定員：20名（先着） 参加費：100円（保険代） | 小さいけれど多様なコケの姿を ルーペで観察。 | 5/18（木）～ （先着順） |
| わくわく子ども 里山キャンプ | 7/26（水） ～7/27（木） 10:00～翌15:00 | 対象：小学校3～6年生 定員：15名（抽選） 参加費：10,000円 （保険・材料代） | 夏の森で朝昼晩と、テントで寝たり、 ごはん作りなど様々なキャンプ体験を します。 | 6/16（金） ～6/24（土） |
| みどり森ガイドウォーク | 4/2（日） 5/4（水祝） 11:00～12:00 6/17（土） 13:00～14:00 | 対象：どなたでも 参加費：無料 定員：15名先着順 | みどり森の季節ごとの見どころを 当館インタープリターがご案内致 します。 | 当日受付 |
| みどり森スライドトーク | 5/6（土） | 対象：どなたでも 参加費：無料 | みどり森の自然や生きもの等につい て、スライドショー形式でお話します。 | 当日受付 |

※各種イベント内容は変更になる場合があります。変更等がある場合には、当館ホームページにてご案内いたしますのでご確認ください。

湿地のあれなに？

みどり森の湿地一面にぼーぼーと生える背の高い植物は…

ヨシ（アシ） といいます。

水に浸かる場所～湿った陸地まで生えるイネ科の多年草で、大きな群落をつくります。

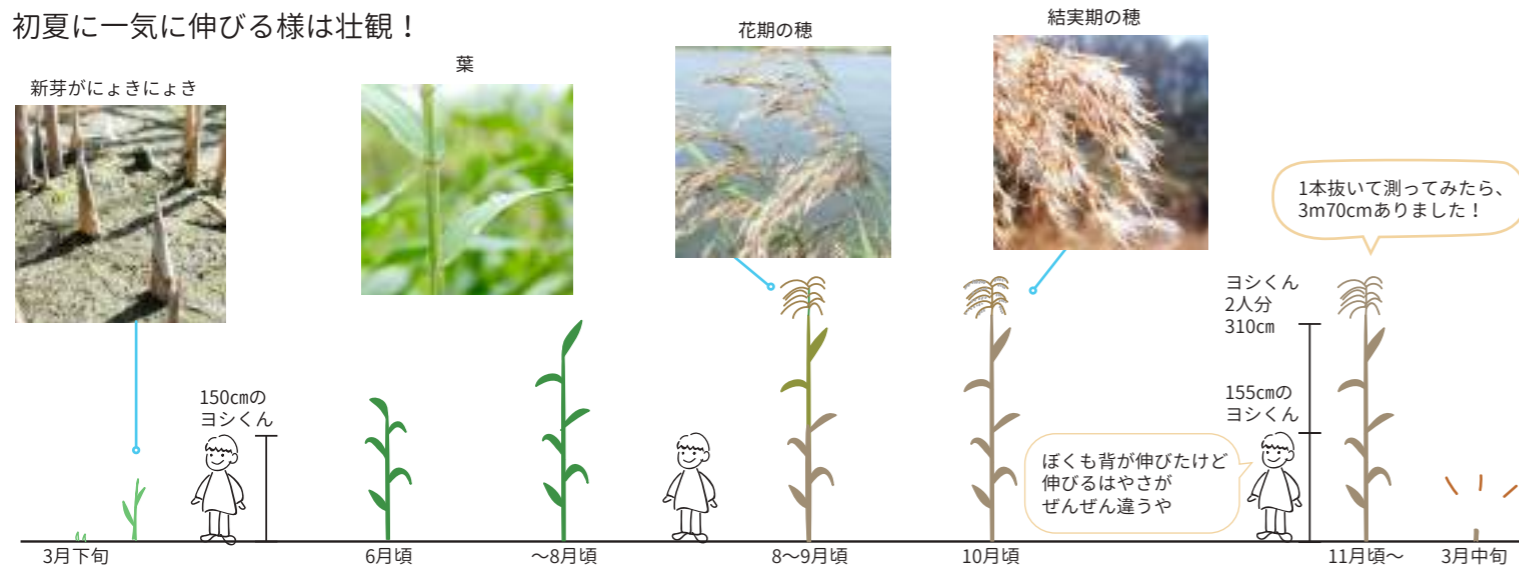


ヨシ原と生きものたち

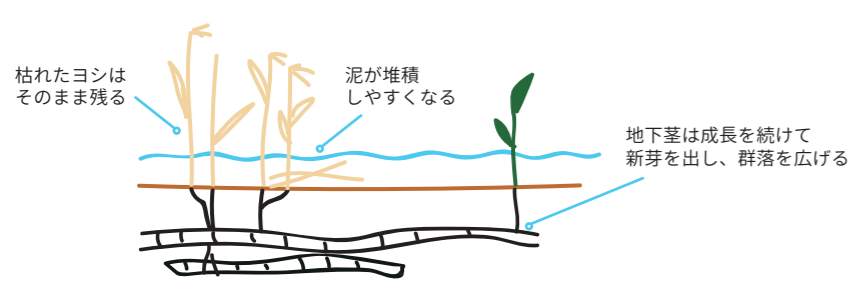


【一気に背が伸びる！】

ヨシの地上部分は春に芽を出しとても背が高くなり、冬に枯れます。初夏に一気に伸びる様は壮観！



ヨシの地上部は冬に枯れますが、地下茎に栄養を蓄え、翌年また芽を出し、これを繰り返しながら成長して群落を広げていきます。



【ヨシは、そのままにしておけない! ?】

ヨシ原を管理せずそのままにしておくと、枯れたヨシが折れて倒れたり、地下茎が成長しすぎたりして、泥が堆積し、陸を好む植物が進出しやすくなります。

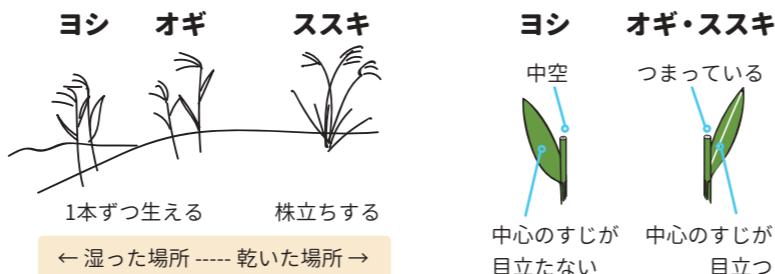
その結果…
陸地化しやすくなる

【湿地を維持するために…刈る!】

みどり森では、生きものが冬越しを終える3月にヨシを刈って、ヨシや他の湿地の植物が芽を出しやすくなります。さらに、刈り草を集積して水の流れを管理したり、地下茎を抜いたりして、湿地の環境を保ち、生きものが暮らしていけるようにしています。

【ちょっと違うの、気付きました?】

ヨシの周りには、よく似たオギやススキも生えていますが、好きな環境や生え方、葉や茎などのつくりも違います。



【管理されているヨシ原には、多くの生きものが?!】

みどり森の湿地には、ヨシを利用する生きものも多く生息しています。しかし…いかんせん、茂っていてよく見えない！
…それってつまり、**生きものたちの隠れ場所** にヨシ! ってこと!

みどり森のヨシ原の生きものたち

茎や葉には…

- オオシオカラトンボ** (初夏～秋): つかまってひと休み
- オオトリノフンダマシ** (夏～秋): 葉の裏で夜まで休憩
- モモコフキアブラムシ** (夏): 葉に裏にくっついて、汁を吸う
- ナミテントウ** (春～秋): アブラムシを食べにくる
- クロコノマチョウ (幼虫)** (初夏～秋): 葉を食べる
- オスクロハエトリ** (初夏～秋): つかまって小さな虫を食べる
- クサヒバリ** (初夏～秋): 美声を響かせる
- ビワコカタカイガラモドキ** (春～冬): 茎にくっついて、汁を吸う

根元や周辺には…

- ミヤマシラスゲ** (春～秋): ヨシの根の上の泥に根を張る
- オオミゾソバ** (秋): ヨシの根の上の泥に根を張る
- アオジ** (冬): ヨシ原に隠れ植物の種子を食べる
- シジュウカラ** (冬): 葉鞘をめくって茎に付くカイガラムシを食べる

ヨシ原の素材をたくさん利用している代表種

- カヤネズミ**: 年間を通してヨシ原の中で暮らし、湿地の植物や虫を食べている。ミヤマシラスゲやオギなどを使って球形の巣を作る

湿地の環境、ヨシ原の中って、小さなジャングルみたいだね。色んな生きものがいて、それを食べに来る生きものもいてさ。こんどちょっと覗いてみようかな。

※湿地には踏み入らず園路からそっと観察してね。

参考文献 吉良達夫. ヨシの生態おぼえがき. 滋賀県琵琶湖所報, 1991
京都市青少年科学センター. “ヨシの生態”. 京都市青少年科学センターHP. <http://www.edu.city.kyoto.jp/science/online/story/22/index.html>